

結 果 報 告

大会名	平成28年度第68回日本ハンドボール選手権大会				
競技日	12月22日(木)	試合番号	し	回戦	2
種別	男子 女子	会場	エソカタ八王子 ・駒沢体育館		
Aチーム			Bチーム		
名古屋経済大学市邨高等学校			広島メイプルレッズ		
得点合計	小計		小計	得点合計	
20	9	前半	14	37	
	11	後半	23		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名

梅澤 真人

前日の試合で富士大学を破った名経大市邨高校がJHLで4位につけている広島メイプルレッズに挑む試合。

メイプルのスローオフで試合開始。2番各屋、18番李のセンターライン、相手のミスを見逃さない速攻で5分間で5連取。このペースで試合が進むかと思われたが、前日富士大学を打ち破った左腕、市邨14番高木のミドルシュートで1点を返すと闘志に火がつく。パワーもスピードも技術も勝る相手に攻守にわたり果敢に真っ向勝負。メイプルは市邨の果敢な姿勢に波に乗ることが出来ない。市邨GK1番神谷の再三にわたる好セーブもあり、5分で0-5、15分で5-11、25分で8-12と、その差を詰めていく。最後の5分はメイプルが意地を見せ9-14、メイプルがリードして前半を折り返す。

ハーフタイムで冷静さを取り戻したメイプルは、後半開始から本来の力を発揮。DFを修正したことで生まれた素早い速攻、速いパス回しからのサイドシュートで市邨を圧倒。市邨も18番伊藤、6番鈴木、14番高木の強烈なミドルシュート、1番神谷のスーパーセーブ等で追いすがることが力及ばず。最後の12分間は主力を温存したメイプルが37-20で勝利。大学生を下し、JHLのチームを脅かし会場を沸かせた高校生たちがコートを去ることになった。